

HYT

取扱説明書

TC-700ExPLUS

本質安全防爆構造電気機器
業務用無線電話装置

www.hytera.cn

HYT防爆無線機「TC-700ExPLUS」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は、TC-700ExPLUSの操作方法について説明した取扱説明書です。

はじめに

はじめに、本製品梱包に破損等が無い事を確認してください。
慎重に梱包を開け、標準付属品の収納を確認してください。
本製品及び付属品の欠品及び破損時は、販売店にご連絡ください。

標準付属品

物品	数量
空中線	1
ベルトクリップ	1
ベルトクリップネジ	2
ストラップ	1
防爆充電電池	1
充電器	1
電源アダプター	1
電源コード	1
革ケース	1
取扱説明書	1

*ご注意:

空中線の周波数帯域は空中線底部にあるカラーリング表示内容を確認してください。表示内容に周波数帯域が明記されていないときは、色で区別できます。赤色空中線はUHF帯を表示、緑色空中線はVHF帯を表示しています。

具体的な周波数帯域は本体ラベルを確認ください。
本体にベルトクリップネジを取り付けて出荷しています。

TC-700ExPLUS

形式名	防爆型式	周波数	寸法	重量
TC-700Ex PLUS	本質安全 防爆構造	150MHz	122H×55W×38Dmm (防爆充電電池含む)	400g
TC-700Ex PLUS	本質安全 防爆構造	400MHz	122H×55W×38Dmm (防爆充電電池含む)	400g

使用条件

項目	環境
動作温度	-20 ~ +40°C
保存温度	-20 ~ +60°C
海拔	2000m (80-106kPa)
湿度	95%(+25 °C)
保護等級	IP64

防爆充電電池(防爆専用)

防爆充電電池	
型式	BL1703EX
容量	Li-on (1700mAh)
電圧	7.4V
運用時間	14時間 (5-5-90)

はじめに

TC-700ExPLUS 本質安全防爆構造の種類

Ex ib II BT3

防爆構造電機器具記号の説明

Ex		防爆構造であることを示す記号
ib	本安回路	Ib: 1つの数えられる故障及び最も厳しい状況となるいくつかの数えられない故障を組み合わせて仮定したすべての状況において、本安回路で発生する火花及び熱が、対象のガス又は蒸気に点火を生じないことが試験により確認された本安機器。
II	防爆構造電機器が使用される場所の分類	鉱山事業所の坑内の危険場所以外の工場または、事業所の危険場所において使用されるものを示します。
B	防爆電気機器の種類	ガス又は蒸気の最小点火電流比の範囲に対応して分類されています。 B: 0.45以上 0.8以下
T3	防爆電気機器は、その最高表面温度に対応して温度等級が分類されています	最高表面温度の範囲(単位:度) T3: 135超 200以下

警告

安全上の注意事項

故障と許容範囲を超える負荷

無線機の安全性が懸念されるときには、ただちに無線機の電源スイッチを切り、速やかに爆発性雰囲気のない場所に持ち出してください。

- 不意に無線機の電源スイッチを入れないでください。
- 点検をする際は、無線機をメーカーに点検を依頼してください。
- 無線機の安全性には下記の場合に懸念されます。
 1. 筐体に目に見える損傷がある
 2. 無線機に不適切な負荷をかけた
 3. 無線機の保管方法が不適切だった
 4. 無線機を搬送中に損傷した
 5. 無線機の銘板などの表記が読み取れなくなっている
 6. 誤作動が生じたとき
 7. 許容限界値を超えたとき

安全規則

無線機をご使用いただくにあたり、誤操作を防止するため必要条件、注意事項及び標準安全規則を厳守してください。

さらに以下の安全規則を守ってください。

- 無線機を許可なく改造、点検、修理、分解したときには、本

- 危険区域内で無線機の防爆充電電池の交換、予備防爆充電電池の持ち込みは禁止されています。
- 爆発性雰囲気内で空中線の取り外し又は、交換はしないでください。
- 防爆充電電池の交換は、必ず爆発性雰囲気外で行ってください。
- 外部マイクを接続していない時には、マイクスリーブカバーを閉めてください。
- 外部マイクのイヤホンジャックは、使用禁止です。イヤホンを接続しないでください。
- メーカーが指定する防爆充電電池 BL1703EX以外の使用は禁止しています。
- 上記以外の防爆充電電池の使用を固く禁止します。使用したときには、無線機は防爆仕様となりません。
- 防爆充電電池を充電する際は必ず、爆発性雰囲気のない場所で行い、付属充電器 CH10L11-EX をご使用ください。
- 防爆充電電池を交換後は、セーフティボルトを必ず締めてください。
- 爆発性雰囲気の中では、マイク接続部に防爆用専用マイク SM08M1-EX のみが利用できます。
- 防爆作業で障害発生を避けるために、爆破区域もしくは「無線機の電源を切って、全ての標識と指示に従うように」

警告

と注意書を示した地域は、導火線式雷管が使用、保管の近くにおいては、必ず無線機の電源を切ってください。

- 本無線機は、本質安全防爆構造の種類等級 ib II BT3を取得しています。等級のガスの種類、危険場所種類の危険特性を確認の上安全にご使用ください。
- 特別危険箇所は、使用できません。
- 無線機は適切な湿らせた布でのみ清掃してください。
- HYTが承認した付属品のみを使用してください。
- 無線機を「特別危険場所」に持ち込まないよう、ご注意ください。無線機を使用する方は、本質安全防爆性能を維持するため必要条件及び注意事項を厳守し、標準安全規則を遵守してご使用ください。
- 無線機は、静電気防止対策のため必ずHYT指定の革ケースをご使用ください。

爆発性雰囲気内で使用承認された付属品

マイク接続: マイク SM08M1-EX

技術関連データ

使用温度: -20 ~ +40°C

保管温度: -20 ~ +50°C

防爆充電電池: 防爆充電 BL1703EX

機能の詳細／操作上の注意事項

本取扱説明書を精読して TC-700ExPLUS の機能をすべてお

読みいただき、安全に使用できるようにしてください。安全および参考など、注意事項をお読みください。

防爆充電電池のお手入れ

使用前に防爆充電電池をフル充電してください。

- 防爆充電電池をフル充電するには、充電と放電を6回程度繰り返す必要があります。
- 防爆充電電池性能は時間の経過とともに劣化しますので、時々完全放電させて、最大容量を維持できるようにしてください。完全に放電するには、無線機のスイッチが自動的に切れるまで無線機のスイッチを入れたままにしておきます。完全放電したときは、防爆充電電池BL1703EX を爆発性雰囲気のない場所でフル充電してください。

防爆充電電池の交換

- 使用済み防爆充電電池は環境汚染にならないよう、適切に廃棄処分してください。

清掃、メンテナンスおよび保管

- 適切な布またはスポンジに水分だけを含ませて無線機を拭きます。
- 清掃は溶剤や研磨剤を使用しないでください。
- 長期間の保管は、防爆充電電池を無線機から取り外してください。
- 許容保管温度は -20°C ~ +50°C です。保管温度を超えな

お客様へ

本機を安全にご利用戴けるよう、下記情報をお読みください。

- 無線機を分解/修理をしないでください。修理を必要とするときは販売店にお問合せください。
- 電磁波干渉又は電磁互換性による問題を避けられるよう、“無線機の電源を切ってください”等の表示がある場所、(例えば病院や他の医療保健施設等)では無線機の電源を切ってください。航空機に乗るとき、機上スタッフより無線機を切るよう要求されたとき、速やかに本機の電源を切ってください；
- エアパック付の自動車内で、本機をエアパックが展開するエリア内に放置しないでください；
- 空中線が破損したものを使用しないでください。破損した空中線が皮膚に触れたとき、軽微な火傷をする恐れがあります；
- 本機を長時間直射日光に放置したり、ヒーター付近に放置しないでください；
- 送信時は、無線機を常に垂直に維持し、又本機を口元から約3-4センチ離して使用してください；
- 無線機を体に付けて持ち歩くととき、発信時の無線機の空中線が体から2.5センチ以上離れている事を確認してください；

TC-700ExPLUS

目次

付属品の取り付け	2	Auto Contact (Communication Range Alert) 自動連絡	12
防爆充電電池の取り付け/取り外し	2	自動連絡の一時削除	12
空中線の取り付け/取り外し	3	チャンネルロック	12
ベルトクリップの取り付け/取り外し	3	Patrol Event select (巡回報告機能)	12
外部マイクの取り付け	4	送信確認 (Transmit Affirm)	12
本機の操作と機能	5	バックグラウンド操作	13
プログラミング補助機能	8	タイムアウトタイマー (TOT)	13
基本操作	9	ビジーチャンネルロック (BCL)	13
アドバンスド操作	9	防爆充電電池セーブ	13
呼出し1/呼出し2	9	低電圧検出アラーム	13
非常通報	9	Safety Check (安全確認機能)	13
Lone Worker (ローンワーカー)	9	アナログトーン/デジタルトーン (CTCSS/CDCSS)	13
Lone Worker バックアップ	9	DTMF	13
Man Down (オプション)	10	2-Tone/5-Tone/HDC1200/HDC2400™	13
Man Down バックアップ (オプション)	10	シグナリングロジック	14
モニター/スケルチ解除	10	PTT ID	14
スキャン	10	故障対応について	15
スキャンバックアップ	11	防爆充電電池について	16
Scrambler (音声暗号化)	11	充電について	17
送信出力確認/切り替え	11	空中線に関して	19
Whisper (音声補助機能)	11	お手入と掃除	19
Whisper バックアップ	11	品質保証と修理規約	20
VOX	12	付属品 & オプション	21
VOX バックアップ	12		
防爆充電電池の確認	12		
レンタル機能	12		

付属品取り付け

1. 防爆充電電池の取り付け/取り外し

防爆充電電池を本体に取り付けるとき、防爆充電電池をシャーシ部の表面に1-2センチ程ずらして合わせ、防爆充電電池を押さえながら本体シャーシのレールに合わせて、下方から“カチッ(リリースボタンをロック)”と音がするまで押し上げます。防爆充電電池を本体と取り付けネジによりしっかり固定してください。(図1)

防爆充電電池を本体から取り外すとき、無線機の電源を切って、本体と防爆充電電池を固定しているネジを緩めてから、本体底部のリリースボタンを矢印方向に沿って押し出し、防爆充電電池が下向きに1-2センチ程押し出して、防爆充電電池を無線機から取り外します。防爆充電電池と本体を固定しているネジを防爆充電電池から取り外さないでください。(図2)

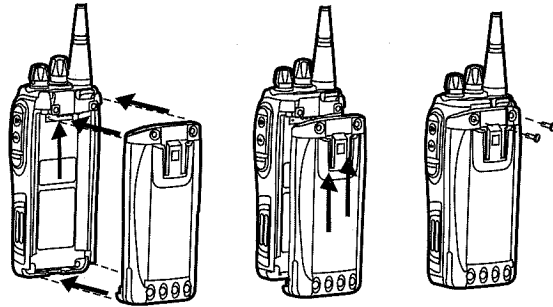


図1

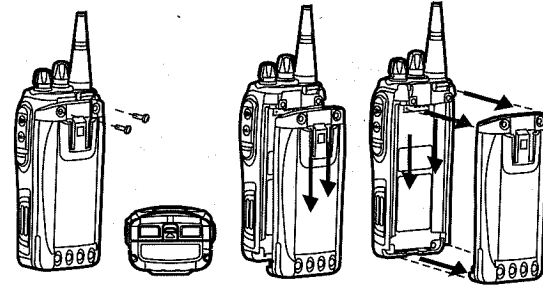


図2

TC-700ExPLUS

付属品取り付け

2. 空中線の取り付け/取り外し

空中線を取り付けるときは、空中線底部を持って、本体上部のコネクタに挿入し、時計方向に回して締め付けます。

空中線を取り外すとき反時計方向に空中線を回して取り外します。(図3)

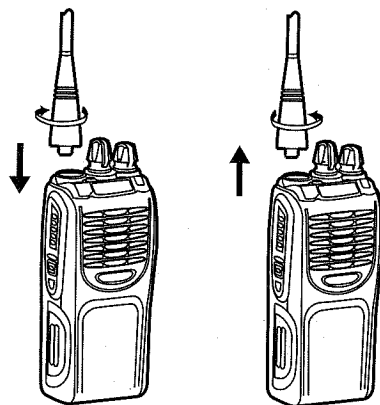


図3

3. ベルトクリップの取り付け/取り外し

本体にあるベルトクリップネジを緩め、ベルトクリップ金具のネジ穴を本体ネジ穴に合わせ、ベルトクリップネジでロックします。(図4)

ベルトクリップを取り外すとき、ネジを緩めてください。(図5)

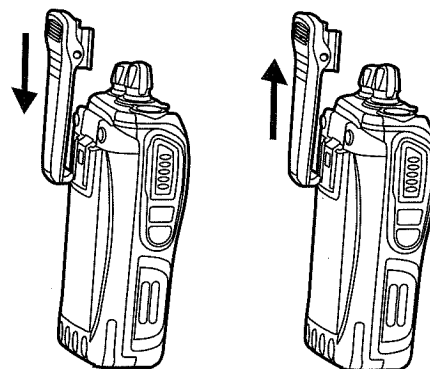


図4

図5

付属品取り付け

4. 外部マイクの取り付け

外部マイクコネクターカバーを開け、外部マイクをマイクコネクターに挿入します。

ご注意：外部マイクを使用するとき、無線機の防水性能に影響を与える恐れがあります。（図6）

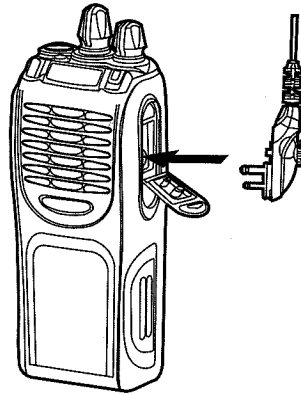


図6

TC-700ExPLUS

本機の操作と機能

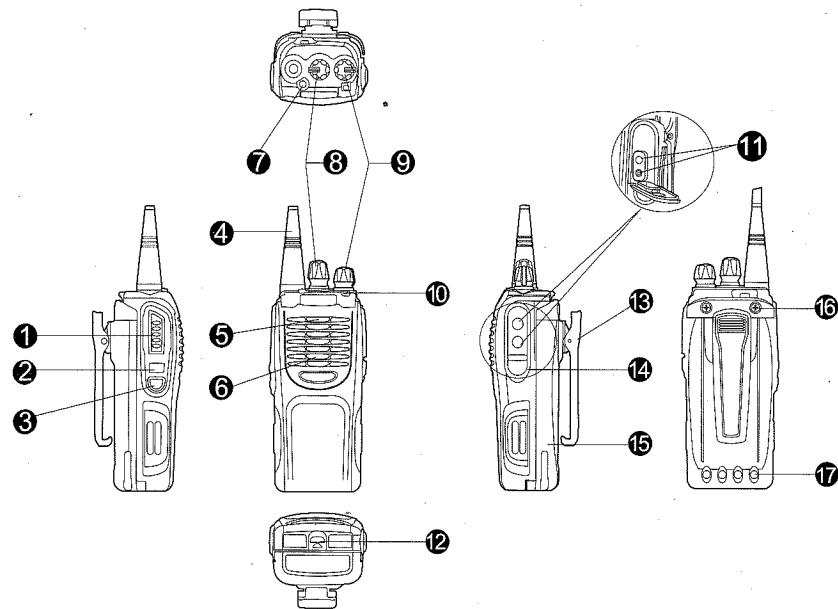


図7

本機 の 操 作 と 機 能

(1) PTTボタン(送信ボタン)

送信と受信の切替ボタン;送信するときは、PTTボタンを押してマイクに向かって話してください;受信するときは、このPTTボタンを離します。

(2) SK1ボタン

Side Key1,プログラミングボタン

(3) SK2ボタン

Side Key2, プログラミング押しボタン

(4) 空中線

(5) マイク

(6) スピーカー

(7) TKボタン

Top Key, プログラミングボタン

(8) Channel(チャンネル)選択スイッチ

スイッチを回してチャンネル1~16を選択します

(9) Power/Volume(電源/音量)スイッチ

時計方向に回して無線機電源を入れます;反時計方向に最後まで回して“カチツ”と音がしたら無線機電源が切断します。時計方向に回すと音量が増加し、逆に回すと減少します。

(10) 状態表示ランプ

ランプの表示状態と通知音は下記の通です:

状 態	ランプ表示
電源投入	緑ランプが1回点滅
低電圧警告	赤ランプが点灯し続け、30秒毎に3回鳴る
送信	赤ランプが点灯
受信	緑ランプ点灯(同一周波数受信)
スキャン	緑ランプが1秒間に一回点滅
読取り、書込み (プログラムソフトウェア使用時)	読取り:赤ランプ点灯 書込み:緑ランプ点灯
エンコード MF/PTT ID/2-Tone/ HDC1200/HDC2400™)	進行時、赤ランプ点灯 終了後、オレンジランプ点灯
デコード (2-Tone/HDC1200/ HDC2400™)	デコード後、オレンジランプ点灯
送信出力選択	1W:一回鳴る 2W:二回鳴る 4W/5W:三回鳴る
プログラミングボタンを押す	一回鳴ったら開始、二回鳴ったら戻る

TC-700ExPLUS

本機の操作と機能

- (11) マイコネクター
- (12) ベルトクリップ
- (13) コネクターカバー
- (14) 防爆充電電池
- (15) ベルトクリップネジ
- (16) 充電器接続端子
- (17) 防爆充電電池ラッチ

プログラミング補助機能

この機能は、TK,SK1,SK2のボタンにTC-700ExPLUSが持つ多くの機能を、個々のボタンに割り当てて、お客様の要求に合わせて設定できます。

(この設定をご利用いただくときは、購入された販売店にご相談ください。)

- 無し
- 呼出し1/呼出し2
- エマージェンシー
- エマージェンシー キャンセル
- Lone worker(ローンワーカー)
- Lone workerバックアップ
- Man down(マンダウン)・・・オプション
- Man downバックアップ・・・オプション
- モニター/スケルチ解除
- 不要チャンネル一時削除(Scan)
- 不要チャンネル削除(Scan)
- スケルチレベルチェック/調整
- スキャン(Scan)
- スキャンバックアップ(Scan)
- Scrambler(音声暗号化)
- Scramblerバックアップ
- Talk around
- 送信出力チェック/切替
- Whisper(音声補助機能)
- Whisperバックアップ
- VOX
- VOXバックアップ
- 防爆充電電池セーブ
- レンタル機能
- チャンネルアナウンス
- 一時チャンネルアナウンス
- Auto Contact(自動確認)
- Safety check(セーフティチェック)
- Safety check一時解除
- チャンネルロック
- Patrol Event Select*
- PTT ID(イベント送信)

TC-700ExPLUS

基本操作

- 時計方向に電源スイッチ/音量制御つまみを回し、無線機電源をオンにすると、緑ランプが一回点滅します。
「Power on tone」が設定されているとき、電源投入時に“ピー”と鳴ります。
- 「モニター」又は「スケルチ解除」機能ボタンを押してキャリアノイズを受信し、電源スイッチ/音量レベルスイッチを回し、音量を調整する。
- チャンネルに合わせると、相手方が送信しているときスピーカから音声が届きます。
- 呼出しのとき、PTTボタンを押して、マイクに向かって話してください。
口元はマイクから約2.5から5センチ程度離してください。
- PTTボタンを放して受信します。

アドバンスド操作

「アドバンスド操作」は3つのキーボタンにプログラム設定機能で、下記の機能から選択して設定できます。(詳しくは購入された販売店にてご相談ください)

呼出し1/呼出し2

2種類の呼出しキーを設定できます。呼出しキーはDTMFコード、2-Tone、HDC1200、或いはHDC2400™等で作成され、相

手方に任意のアラーム音で呼び出します。また、IDコードの送出や機器の制御を行うことができます。

非常通報

非常通用ボタンを設定すると、無線機からアラーム音が発生します。また、設定されたIDコード及びマイクで集音された音を送信します。

非常警報設定のボタンを長押しすることでアラーム機能を解除します。(非常警報解除)

Lone Worker(ローンワーカー)

Lone Workerボタンを設定すると、無線機が単独で使用されるときでも使用者の安全を確保できます。この操作は、任意に設定された時間毎に無線機が通知音を出し、その音を聞いたら必ずボタン(安全確認)を押します。押さないとき、無線機は自動的に非常警報モードに移行します。

※電源を切って再度投入したとき、この機能は解除します。

Lone Workerバックアップ

Lone Worker with Backupボタンを設定すると、電源再起動後もこの機能が保持します。

基本操作

Man Down(オプション)

Man Down機能を設定すると、一定時間(設定時間)無線機を45°C以上傾斜したとき、アラーム音を送信します。設定時間内に無線機の傾斜を元に戻さないと非常警報モードに入ります;設定時間内に装置を45°C以上に戻すと、非常警報モードを解除します。

※電源を切って再度電源を入れたとき、非常警報機能は解除します。

Man Downバックアップ(オプション)

※Man Down with Backupボタンを設定すると、電源再投入後もこの機能を保持します。

モニター/スケルチ解除

- モニター

モニターボタンを設定すると、ボタンを押すとトーンOFFになります;再度ボタンを押すと解除します。

- 一時モニター(Momentary)

一時モニターボタン設定すると、ボタンを押すとトーンOFFになります;放すと解除します。

- スケルチ解除

スケルチ解除ボタン設定すると、ボタンを押すとスケルチOFFになります;再度ボタンを押すと戻ります。

- 一時スケルチ(Momentary)解除

一時スケルチボタンを設定すると、ボタンを押すとスケルチOFFになります;放すと戻ります。

- スケルチレベルチェック/スケルチ調整

スケルチレベルチェック機能を設定すると、ボタンを押すと、現在のスケルチレベルを音声でアナウンスします。(スケルチレベル:9~0の10段階)

スケルチ調整はスケルチレベルチェックボタンを押した後、スケルチ調整ボタンを押すと1段階増加し(9~0間で循環、0のとき、“ザー”と音がして、スケルチが常に解除された状態になります)、保存します。

スキャン

スキャンキー設定すると、チャンネルに設定順にスキャンを開始します。スキャン時は、緑ランプが点滅し、周波数・トーンが一致したチャンネル受信すると、LED表示灯が点灯し音声をモニターできます。再度ボタンを押すと、スキャンを再開します。

※電源を切って再度投入したとき、この機能は解除します。

- 不要チャンネル一時削除

● スキャンが、あるチャンネルモニターを開始したとき、モニターチャンネルが不要な時「不要チャンネル一時削除」キーを押すと、当該チャンネルはスキャンリストから一時的に削除します。

TC-700ExPLUS

基本操作

- スキャンリスト対象リストが2チャンネル以下のとき、その内一つのチャンネルは削除できません。
- 当該チャンネルをスキャンリストに戻すときは、再度スキャン機能をONにするか、又は無線機を再起動します。
- 不要チャンネル削除
スキャンチャンネルでモニターを開始したとき、このモニターチャンネルが不要なとき、「不要チャンネル削除」キーを押すことで、当該チャンネルはスキャンリストから削除します。
- 「優先チャンネル」は一時的に削除しますが、永久的に削除はできません。
- スキャンリスト対象リストが2チャンネル以下のとき、その内一つのチャンネルを削除できません。

スキャンバックアップ

※この機能は、前回行ったスキャン情報を電源再起動後も保持します。

Scrambler(音声暗号化)

IScrambler機能には二種類があります。「Scrambler」と「Scrambler Backup」

Scrambler機能をONにした無線機のみ通話が可能で、機能の搭載しない無線機は会話を正しく受信できません。

- Scrambler

Scramblerボタンを設定すると、キーを押すと、音声を暗号化して送信します。

※電源を切って再度投入したとき、機能は解除します。

- Scrambler Backup

※Scrambler Backupボタンを設定すると、電源再起動後もScrambler機能を保持します。

送信出力確認/切り替え

送信出力確認/切り替え機能設定

ロングプレス時：現在のパワー等級をビープ音でお知らせします。(1回鳴音：Low, 2回鳴音：Mid, 3回鳴音：High)

ショートプレス時：現在のパワー等級を変更します。：ボタンを押すごとに、1回鳴音=Low、2回鳴音=Mid、3回鳴音=High

Whisper (音声補助機能)

Whisper機能を設定すると、このボタンを押して送信すると、マイクレベルが上昇し小さなささやきでも相手方に明瞭な音声を送信します。

※電源を切って再度投入したとき、この機能は解除します。

Whisperバックアップ

Whisper with Backupボタン設定すると、電源再起動後もWhisper機能が保持します。

基本操作

VOX

VOX機能を設定すると、VOXボタンを押したとき、VOXが有効となり、もう一度押すと解除します。

※電源を切って再度投入すると、この機能を解除します。

VOXバックアップ

※VOX with Backupボタンを設定すると、電源再起動後もVOX機能を保持します。

防爆充電電池の確認

電源確認ボタンを押すと、ボイス音にて“1”、“2”、“3”、“4”の4段階でお知らせします。

※ 1: 防爆充電電池の残量が少ない(送信不可)、2: やや足りない、3: 比較的足りる、4: 満量

レンタル機能

レンタルボタンを押すと、ボイス音にて“1”、“2”、“3”、“4”、“5”段階で残量時間をお知らせします。

※レンタル機能は事前設定の期間に使用できます。

※運用期間設定はプログラミングソフトウェアで設定します。

※設定に関する設定情報は、購入の販売店にご相談ください。

Auto Contact(Communication Range Alert)

自動連絡

自動連絡機能設定の一組の無線機を使用中に、通信範囲を超えると、アラーム音を発生します。自動連絡機能は、事前設定時間内に任意のボタンを押すことができないとき、非常警報モードを動作します。

自動連絡の一時削除

自動連絡機能設定の一組の無線機を使用中に、自動連絡一時削除ボタンを押すと、選択IDコードを自動連絡リストから一時的に削除します。

チャンネルロック

チャンネルロックキーを設定すると、全チャンネルを固定します。

Patrol Event select(巡回報告機能)

※Patrol Event select有効にします。

送信確認(Transmit Affirm)

※Patrol Event select有効時に使用します。

TC-700ExPLUS

バックグランド操作

タイムアウトタイマー(TOT)

連続送信時間を制限する機能です。事前設定の送信時間を超えたとき、無線機は警告音を発生して送信を自動停止します。警告音を停止するにはPTTボタンを放します。

※この機能設定詳細は、ご購入の販売店にご相談ください。

ビジーチャンネルロック(BCL)

ビジーチャンネルロック機能設定した時、ボタンを押すと、同一周波数において複数の無線局の送信を制限します。(受信中は送信できません。)

キャリア:キャリア(周波数)が一致したときに有効になります。
トーン:トーン(CTCSS/DCS)が一致したときに有効になります。

防爆充電電池のセーブ

防爆充電電池のセーブは12秒以上無線操作しないとき、又は、受信電界強度が無いときに無線機の消費電力をセーブします。

低電圧検出アラーム

低電圧検出アラームは、送信に必要な電力が防爆充電電池から供給できなくなる限界に近づくとLED赤ランプが点滅し警

告を促します。また続けて、30秒以内に三回“ピー”と鳴ったときは、防爆充電電池を充電してください。

Safety Check(安全確認機能)

安全確認機能は、プライマリ無線機がステータス信号を送信したとき、セカンダリ無線機は任意のボタンを押して、ACK(安全状態であること等)信号を返します。ACK信号が送られないと、その無線機は非常警報モードを動作します。

アナログトーン/デジタルトーン(CTCSS/DCS)

アナログトーン/デジタルトーンのいずれかのトーン信号を付加します。

DTMF

DTMFは、SKボタン(呼出し1、呼出し2)に設定すればDTMFコードを送出します。

コード送出時、赤ランプが点灯し、送出終了後、ランプが消えます。

2-Tone/HDC1200/HDC2400™

2-Tone/HDC1200/HDC2400™は、SKボタン(呼出し1、呼出し2)に設定したとき

バックグラウンド操作

2-Tone/HDC1200/HDC2400™を送出します。

コード送出時は、赤ランプが点灯します。送出終了後、オレンジランプは有効時間が終了するまで点灯します。

デコード時、緑ランプを点灯します。デコード成功後、オレンジランプは有効時間が終了するまで点滅します。

シグナリング ロジック

CTCSS/CDCSS “AND” “OR” 2-Tone/HDC1200/HDC2400™

“AND”:二つのシグナリング制御を採用すると、両方が一致したとき、スケルチが動作します。

“OR”:二つのシグナリング制御を採用すると、両方のうち一つが一致したとき、スケルチが動作します。

PTT ID(イベント送信)

PTT ID(発信開始と発信終了の識別信号)は、中継器や電話システムの継続と切断に用います。

発信開始設定し、PTTボタンを押したときID(発信開始)信号送信します。

発信終了設定し、PTTボタンを放したときID(発信終了)信号送信します。

両方を設定し、PTTボタンを押したり、放したりしたとき、当該ID信号を発信します。

TC-700ExPLUS

故障対応について

問題	ソリューション
電源が入らない。	防爆充電電池容量が不足しています。防爆充電電池の交換、又は再充電を行ってください。 防爆充電電池を正常に取り付けていません。防爆充電電池を外して再度、取り付けてください。
充電しても使用時間が短い。	防爆充電電池の寿命が短くなっています。新しい防爆充電電池と交換してください。
電源は入るが通話ができない。	ご使用の周波数とCTCSS/CDCSS信号が他の通話相手と同一番号となっているか確認をしてください。 通話相手と通信距離が離れています。無線機の通信距離の有効範囲内となっているか確認してください。

防爆充電電池について

充電時の注意事項

同梱されている防爆充電電池、或は単体で購入された防爆充電電池は出荷時において防爆充電電池の容量が不足していることが有ります。ご使用前に、必ず防爆充電電池の充電を行ってください。最初の三回目まで、十分に充電/放電を繰り返す事により、防爆充電電池の容量を最適な状態にします。防爆充電電池容量の残量が少なくなったとき、防爆充電電池の充電を行ってください。(充電をしても防爆充電電池の容量が回復しないときは交換するか、販売店にご相談ください。)

適用する防爆充電電池の種類

HYT指定の防爆充電電池及び充電器を使用して充電してください;他の防爆充電電池を使用するとき、爆発による怪我の恐れがあります。(TC-700ExPLUS防爆無線機は、防爆専用防爆充電電池BL1703EXを使用することにより無線機の電源が入ります)

ご注意:

防爆充電電池端子の短絡及び火中に投入しないでください。

防爆充電電池を分解しないでください。

5°Cから40°Cの環境温度の場所で防爆充電電池を充電してください。この温度範囲外で充電すると、防爆充電電池がフル

充電できません。

充電するとき、無線機の電源を切ってください。充電しながら無線機を使用すると、防爆充電電池が正常に充電できなくなる恐れがあります。充電中、出来るだけ電源と防爆充電電池の取替えをしないでください。

正しく充電しても運用時間が短いときは、防爆充電電池の寿命です。新品と交換する必要があります。

防爆充電電池、又は無線機を濡れた状態で充電しないでください。故障の原因になります。



警告: 貴金属等の導電金属が電極に接触したとき、すべての防爆充電電池による物品破損、又は人体被害が生じる恐れがあります。これら導電金属は防爆充電電池端子を短絡させる可能性があります。防爆充電電池の発熱或は爆発の恐れがあります。防爆充電電池を所持または保管するとき、貴金属と一緒にしないでください。

TC-700ExPLUS

充電について

防爆充電電池を取り付けた本体の電源投入後、LEDの赤ランプが点滅し、30秒毎に三回“ピー”と鳴ったら、防爆充電電池容量残量が少ないので速やかに充電してください。

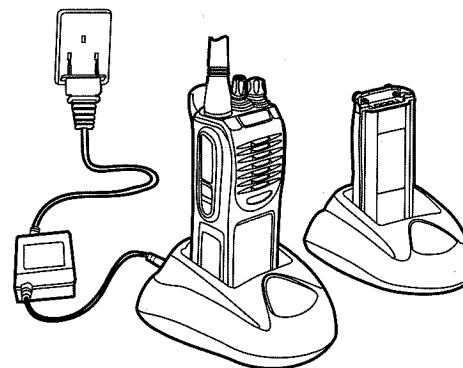
HYT指定の充電器にて充電してください;充電器のLEDは充電状況を示しています。

充電器状態	LED表示	備考
待機(無負荷時)	赤色LEDがゆっくり点滅 (0.2秒点灯/3秒消灯)	スマート快速充電器での充電に適用
防爆充電電池の充電モード	赤色LEDが点灯	
防爆充電電池の満量	緑色LEDが点灯	
エラー	赤色LEDが早く点滅 (0.2秒点灯/0.2秒消灯)	スマート快速充電器での充電に適用

下記手順に従って充電してください:

- 電源コードを電源アダプターに挿入してください。
- 電源アダプターのDCプラグを充電器背部のDC挿入口に挿入してください。
- 又は防爆充電電池が装着の無線機を充電器に差し込んでください。

- 電源アダプターのACプラグを交流電源出力ソケットに差し込んでください。
- 充電器の端子がしっかり接触出来て、充電LEDが赤色に変化したときに、充電を開始しています。
- 充電開始後約3時間経過し、LEDが緑色に変わったとき充電が終了します。この時、防爆充電電池又は防爆充電電池が入っている無線機を取り外してください。



充電について

ご注意:

- * 防爆充電電池挿入前の充電器LEDの点滅は異常ではありません。
- * 同一充電ポケットで続けて充電を行うときは、LEDが安定(点灯)したことを確認してから、充電する防爆充電電池を挿入してください。
- * 正しく挿入されていることを確認したら、充電器赤ランプの継続的な点灯は充電中を、点滅は防爆充電電池の破損、又は環境温度の規定範囲外であることを表しています。

トラブルシューティング(スマート快速充電に適用)

トラブルシューティング時、LED状態をご観察ください。

LED表示がない?

交流アダプターが適切な交流ソケットに差し込んだ事を確認してください。

赤色LEDが早く点滅(0.2秒点灯/0.2秒消灯)?

- 防爆充電電池を充電器に挿入した時
- この防爆充電電池がHYT指定の防爆充電電池であることを確認してください。他種類の防爆充電電池は充電できません。
- 充電器電源を切って、綺麗な乾いた布で防爆充電電池と充電器の接点を拭いてください。
- 防爆充電電池温度が45℃以上となっている恐れがあります。

- 防爆充電電池が故障しています、新しい防爆充電電池と交換してください。
- 充電器電源を繋いで、再度防爆充電電池を充電器に挿入しても、LEDが赤く点滅するときは、新しい防爆充電電池と交換してください。

ご注意:

- 周囲環境温度が5℃~40℃範囲以外で充電すると、防爆充電電池寿命を損ねる恐れがあります。
- 防爆充電電池/充電器の充電条件が正常を検知したときは、自動的に充電を行います(赤色点灯)。

TC-700ExPLUS

空中線に関して

ヘリカル空中線は比較的近距离通話のときに最適に利用できます。無線機を腰に携帯するときにも適しています。ホイップ空中線は遠距離通信の時に最適に利用できます。

曇りや雨天、森林などの環境では、通話距離が短くなる場合があります。

お手入と掃除

- 直接、空中線やマイクで無線機を持ち上げないでください。
- 接触不良を防止する為、繊維が出ない布等で無線機の埃、汚れを拭き取ってください。
- 無線機を使用しないときは、アクセサリコネクタの蓋を閉めてください。
- 長期間使用しないときは、ボタン、制御つまみと装置ケースが汚れてしまうので、中性洗剤(腐食性の強い化学薬剤を使用しない)と濡れた布で掃除してください。

品質保証と修理規約

品質保証範囲と期間

深圳市好易通科技有限公司(以下、HYTという)は、以下のよう
に承諾します。HYTが製造した無線機はお買上げ日から、
正常な使用とお手入れの元、製品、又は製造上の欠陥が生じた
とき、下記期間内は無償にて修理します。

本体 24ヶ月

付属品(空中線、防爆充電電池、充電器) 6ヶ月

修理を依頼される時

修理依頼するときは、必ずHYTカスタマーサービスセンター、
又はHYTより授權されたサービス拠点に購入伝票(お買上げ
日と製品シリアル番号)を提供してください。製品を丁寧に梱
包し、詳しい故障説明と具体的な連絡方法を添付した上、郵
送してください。又、HYTフリーダイヤル400-830-7020もご利
用戴けます。

日本地区のサービス拠点

〒108-0014

東京都港区芝5丁目32番3号 STJビル

株式会社サン・コーポレーション

フリーダイヤル 0120-923-416

TEL 03-3454-1060

本品質保証には下記内容を含まない事とします:

- 正常な取扱いや正規な取扱い以外による本製品の欠陥、
又は破損;
 - 誤った取扱い、事故、浸水、不注意による欠陥、又は破損;
 - 誤った測定、操作、修理、取付け、改造、又は調整等による
欠陥、又は破損;
 - 材料や加工以外の不具合による空中線の欠陥、又は破
損;
 - 授權されていない修理、分解作業等による欠陥、又は破
損;
 - シリアル番号が抹消され、又は識別出来ない製品;
 - お買上げ日が識別出来ない製品;
 - 下記のような防爆充電電池:
 - a. 防爆充電電池ケース密封に何らかの破損があり、又は開封
されたもの;
 - b. 製品規定以外の設備、又は修理条件での充電や使用によ
る欠陥、又は破損;
- 正常な摩耗

TC-700ExPLUS

付属品/オプション

空中線	1連式充電器	マイク	革ケース LCBN57
	CH10L11-EX	SM08M1-EX	革ケースLCDS1120

本マニュアルの作成において、内容の正確性と整合性についての検閲を実施していますが、不慮の不足や漏れについて、HYT社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。HYT社は、製品改良のため、予告無しに仕様変更する場合があります。

HYT社による書面での授権が無い限り、本マニュアルを勝手に複写、変更、翻訳、一部写し、検索可能なシステムへの保存、又は何らかの形式による何らかの手段での転送を禁止します。

販売店名

保証を受け取る重要な窓口です。必ずご記入ください。

防爆無線機の防爆性能・電气的性能を維持するために、お買い求めの販売店で保守契約又は定期点検をお奨めします。製品及びアクセサリ等のお問い合わせは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。